

令和5年度 総合国際競技大会における日本代表選手団帯同医の業務について

令和5年1月26日

1. 設置目的

令和5年度 総合国際大会日本代表選手団に随行する帯同医は、各競技団体のチームドクターと連携をとり、各総合国際大会に参加する選手、コーチ、役員等の日本代表選手団の健康管理を行うと同時に、主催者や組織委員会が開催するチームドクター会議に参加して医学に関わる情報を収集し、また必要時に競技のクラス分けやドーピング検査に立会い、日本代表選手が円滑に競技出来るようにサポートすることにある。

2. 派遣日程

① ヴィシー2023 Virtus グローバルゲームズ (フランス・ヴィシー)

大会期間:2023年6月4日(日)開会式～10日(土)閉会式(7日間)

② バーミンガム 2023IBSA ワールドゲームズ (イギリス・バーミンガム)

大会期間:2023年8月18日(金)開会式～8月27日(日)閉会式(10日間)

③ 杭州 2022 アジアパラ競技大会 (中国・杭州)

大会期間:2023年10月22日(日)開会式～10月28日(土)閉会式(7日間)

※派遣期間は大会期間の前後数日を含み予定していますが、大会により多少前後します。

3. 募集人数(看護師の募集は参考)

	大会名	募集人数	
		医師	看護師
1	ヴィシー2023 Virtus グローバルゲームズ	内科系1名	募集なし
2	バーミンガム 2023IBSA ワールドゲームズ	内科系1名	募集なし
3	杭州 2022 アジアパラ競技大会	内科系1名 外科系・リハ医 あるいは他科1名を 含む合計3名(*)	看護師3名 (*)

*日本代表選手団を派遣する全日程を通して選手村に滞在する医師1名、選手村/村外にて途中交代による医師2名の対応を想定。

4. 費用について 渡航費・滞在費・ユニフォームはJPCが負担します。

5. 業務内容 別紙のとおり

日本パラスポーツ協会 医学委員会
委員長 緒方 徹